

子ども 若者 高齢者 みんなが安心、平和な武藏野

みしま
すぎこ
島
杉
子

党武藏野子ども・教育相談室長
市議予定候補



お困りごと、ご要望はお気軽に
080-5689-5162 三島杉子まで
sugikomishima@gmail.com
無料法律相談 毎月第2火曜日
Twitter 三島杉子で検索してください。



日本共産党

武藏野民報

日本共産党武藏野三鷹地区委員会の見解をお知らせします。
2022年特別号外 発行人 岡崎万寿秀 連絡先 TEL53-1611 FAX53-3317

主な活動地域

吉祥寺東町、吉祥寺南町、御殿山、吉祥
寺本町、吉祥寺北町1・2丁目、吉祥寺
北町3丁目1～4番、10～13番

三島杉子がめざすこと

- 小中学校の学校給食費無償化を活かした市政に
- 現在策定中の「子どもの権利条例」を活かした市政に
- 学校などで働く非正規の専門職員の待遇改善
- 国保税、介護保険料・利用料、医療費の負担軽減
- 補聴器購入費助成制度の実現
- 東京外環道工事中止、「外環の2」計画の廃止
- 吉祥寺地域に高齢者施設を
- 憲法をくらしに活かす
- 消費税 5%に減税



【三島杉子略歴】

● 1961年生まれ ● 本宿小学校、第三中学校、都立三鷹高校、都留市立都留文科大学文学部卒業。中・高・大でバドミントン部 ● 元東京都公立中学校教員。教職員組合でどの子も大切にする学校、教育

をめざして活動 ● 吉祥寺東町在住。家族は夫と猫2匹。娘2人（境南保育園、南保育園、本宿小学校、第三中学校）は独立 ● 趣味は朗読、ドキュメンタリー映画の鑑賞 ● 2022年5月より、党武藏野子ども・教育相談室長

本間 まさよ
市議会議員



橋本 しげき
市議会議員

「市民が主役」の市政を
前に進めるため
2023年春
3人そろって市政で
働かせてください

日本共産党発行
しんぶん 赤旗
読んでみませんか
日刊●月3,497円
※電子版もあります
日曜版●月 930円

西久保、中町、緑町、八幡町、
吉祥寺北町3丁目5～9番、
14～17番、吉祥寺北町4・
5丁目

町名・地番は主な活動地域

武藏野民報

日本共産党武藏野三鷹地区委員会の見解をお知らせします。
2022年特別号外 発行人 岡崎万寿秀 連絡先 TEL53-1611 FAX53-3317

「教え子を戦場に送らない」——は私の誓いです。「非核都市宣言」を行い「平和の日」を制定したこの町で暮らしてきました。平和憲法を変える、軍事費2倍化という戦争のリスクを高める動きを止めるために力を尽くします。

私の教員時代、「将来の仕事に望むのは、寝られる場所がある、食べられるという、せめて普通の暮らしができる給料があること」と発言した生徒がいました。仕事に就いても日常の衣食住が保障される訳ではない現実に心が痛みます。コロナや物価高も追い打ちをかけています。

子どもも、若者も、高齢者も、誰もが大切にされ、平和に豊かに暮らすために、みなさんの声を聞き、一緒に考え、願いを実現していきます。

この間、日本共産党は、松下玲子市長と力を合わせ、保育園の待機児童ゼロ、18歳までの医療費無償化などを実現してきました。私も、ぜひ市政で働かせてください。

ごあいさつ



三島 杉子

自由と平和への思いが生き方の原点です

原爆や戦争に関する児童書や、社会に目を向け行動を起こす、本の中の子どもたちの姿に夢中になった子ども時代。

学校やクラスという枠に息苦しさを感じる一方、制服がないこと、生徒の自治を大切にした活動があることに誇らしさも覚えた中学時代。

原水爆禁止世界大会に参加し、平和運動にとりくみ、学生ゼミや子どもまつりなどで子どもの自主性を尊重することを学んだ学生時代。

培った自由と平和への思いが原点です。

毎週、朝の街頭演説。先生だったからか、すごい体力で話も上手。議員にふさわしい人です。

元市議会議員
御殿山 梶 雅子

謙虚な人柄、実行力のある三島さん。市民の「困った、にすぐかけつけてくれます。私利私欲のないこのような方が政治には必要です。

吉祥寺本町 三枝 妙子

三島杉子さんを市政へ



住宅の地下を無断で掘る「外環道」建設反対でご一緒していて、心強い女性です！

吉祥寺東町 倉光 祥子

誠実・努力・じっくりの方。子どもや弱者のための安心して暮らせる武蔵野市のために、活躍を心から期待します。

吉祥寺北町 大村 陽子

南保育園の父母会以来のお付き合いです。穏やかで柔軟な人柄、かつ、ご自身の思いをハッキリ伝えられる頼もしい方です。

吉祥寺南町 岡崎 いづみ

困っている、の声を聞き 現場に駆けつけます

今年6月の大雨で冠水した女子大通り。三島さんは、すぐに東京都の担当部署に連絡し、現場で改善を要請。早速排水マスが設置され、水はけがよくなりました（下の写真）。

「子どもが通る道を抜け道として通る車が増えていて何とかしたい」、「アパートの立ち退きで困っている」——寄せられる相談に親身に対応している三島さん。「子どもたちの心に寄り添う教員に」を信条に働き、子ども、保護者に向き合ってきた経験が生きてています。

